



緑光 1980年(昭和55年)西川一平(前会長)

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第68期株主通信をお届けいたします。



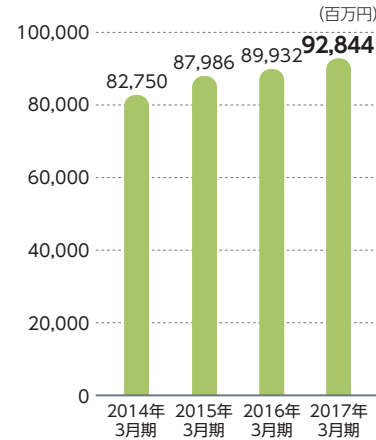
西川ゴム工業株式会社

財務ハイライト

売上高

92,844
百万円

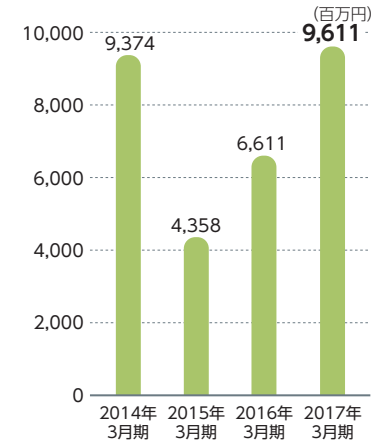
国内自動車生産台数が3年振りに前年を上回ったことや、海外自動車生産台数も堅調に増加した結果、前期比3.2%増となりました。



経常利益

9,611
百万円

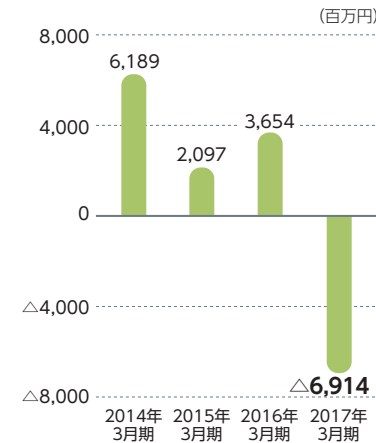
生産性向上および原価低減活動が奏功し、前期比45.4%増となりました。



親会社株主に帰属する当期純利益

△6,914
百万円

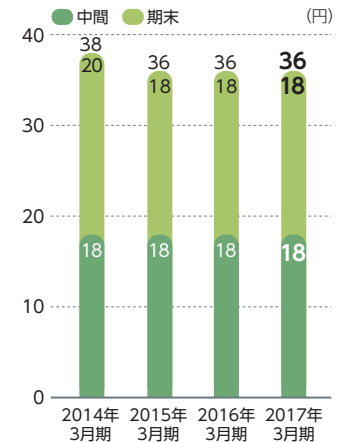
独占禁止法関連損失を特別損失として計上した結果、69億14百万円の損失となりました。



1株当たり配当金

36円

当期の期末配当を1株当たり18円とさせていただき、中間配当とあわせた年間配当は1株当たり36円となりました。



※2014年3月期の年間配当には記念配当2円が含まれております。

セグメント別の業績

自動車用部品

国内外ともに自動車生産台数が対前年比で増加した結果、売上高は882億25百万円(前期比3.2%増)となりました。営業利益は生産性向上および海外子会社の収益改善が寄与し、89億5百万円(前期比44.4%増)となりました。

一般産業資材

新設プレハブ着工戸数が前年を上回った結果、売上高は46億18百万円(前期比4.0%増)となりました。営業利益は原価低減活動が奏功し、4億87百万円(前期比5.2%増)となりました。

2020年ビジョン達成を目標に、経営体制を強化

当社は6月27日開催の定時株主総会後の取締役会において、代表取締役会長に西川正洋、代表取締役社長に福岡美朝が就任することを決定いたしました。

今回の会長・社長人事は、変化する国内外の外部環境、およびグループ内の重要課題に迅速かつ柔軟に対応するため、代表取締役会長・代表取締役社長・代表取締役副社長の3名体制で経営分担と経営協議をすることにより、経営体制を強化する目的で行うものです。

長年にわたり、管理本部長としてコンプライアンス体制の構築に携わってきた福岡美朝が社長に就任することで、コーポレートガバナンス体制をより強化し、2020年ビジョンの達成と、さらなる企業価値の向上を目指します。また今回の交代を契機として、より一層の経営体制の活性化と次世代経営層の育成を進めてまいります。



代表取締役会長

西川 正洋

代表取締役社長

福岡 美朝

代表取締役副社長

山本 文治

当社の中期計画について

当社は、2020年ビジョン(連結売上高:1,000億円以上、連結営業利益率:10%以上、連結総資産営業利益率:10%以上)を達成するため、平成24年度(2012年度)から平成32年度(2020年度)までの期間を、『助走』(第1フェーズ:平成24年度～平成26年度)、『成長』(第2フェーズ:平成27年度～平成29年度)、『飛躍』(第3フェーズ:平成30年度～平成32年度)のフェーズに分けて中期基本方針を策定しています。

平成29年度(2017年度)は第2フェーズの最終年度であり、第3フェーズに向けた重要な経営年度と位置付け、売上・利益、品質、人材育成、安全衛生、環境対応等の各方面で企業価値向上に向けた諸施策を推進しております。

特にコンプライアンスに関しては、先般の米国反トラスト法違反を受け、各国の法令を厳格に遵守した事業活動を西川ゴムグループ全体で実施できるよう、本社主導でコンプライアンス体制の運用と定着に一層注力してまいります。

今年度のキーワード『繋ぐ』について

今年度のキーワードは3つの『繋ぐ』です。まず、1つ目の『繋ぐ』は『品質を繋ぐ』です。これは、自工程で受け取った製品および業務の品質を劣化させないで次工程に繋ぎ、さらに本社の品質管理体制を海外拠点に繋ぐということで、国内の品質安定化および本社主導による海外拠点の品質管理体制の強化を行います。

次に、2つ目の『繋ぐ』は『情報を繋ぐ』です。これは、製品仕様の複雑化に伴う生産現場の困り事情を開発初期から繋ぎ、また、現場のIT化により現場の管理監督者の必要な情報を早く繋ぎ生産性を向上させるということです。これにより現場での異常に対して迅速に対処できる体制を強化します。

最後に3つ目の『繋ぐ』は『志を繋ぐ』です。グローバル・コンプライアンス体制のもと日本を始め各国の法令を遵守すること、およびお客様のニーズに対応して開発品をタイミング良く提案することにより、西川ゴムグループのブランド価値を向上させていくという志を管理者から担当者まで繋ぐという意味です。

以上の3つの観点からの『繋ぐ』という心を西川ゴムグループ全員が持って今年度の事業活動に取り組み、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

こち良さを求めて…超発泡シール技術「Hysoft®」



Hysoft®は西川ゴム工業(株)の登録商標です

クルマに乗って快適・安心を感じる時、それは、たとえば、風薫る新緑の中をドライブするこち良いひとときの中に。またそれは、突然降り出した雨を逃れて駆け込んだ瞬間の中に。私達はシールによる止水・防塵・防音で、この快適・安心感の向上を目指しています。

この活動の中で、今、私達は一つの新たなカテゴリーをつくり出します。それは「Hysoft®」という技術ブランド。hyper(超)とsoft(柔らかい)の2つ意味を併せ持つ造語として命名し、止水・異音防止・吸遮音に効く「低比重・超発泡シール技術」を示しています。

私達はこの技術に関連して多くの特許を有し、これらは高難易度シール設計の重要なポイントとして、更なる静粛性向上のアイテムとして、悪条件下での止水施策として、数々のシーンで効果的に活用されてきました。

自動車により快適・安心を求められる時代となっている今、私達は、この「超発泡シール技術」で得られる「機能的価値」の向上とともに、搭乗者を満足させる「情緒的価値」の追求を進めていきます。

そして、確かな技術とモノづくり力によるオリジナリティ溢れる多機能・高機能な製品づくりを推進し、製品/技術ブランドに支えられた強固なコーポレートブランドづくりを展開していきます。

特集 監査等委員会設置会社への移行について

これまで当社は、独立社外取締役の複数名選任および指名・報酬に関する諮問委員会の設置等、コーポレートガバナンスの強化に取り組んでまいりました。

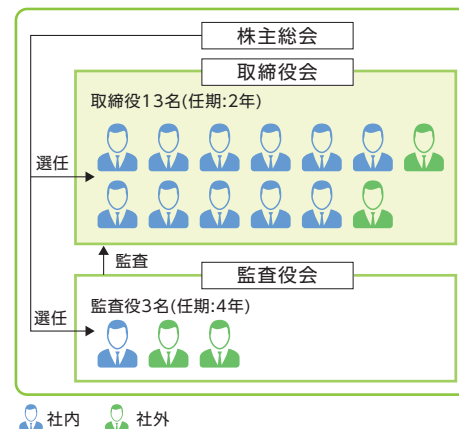
今般、取締役会の監査・監督機能をより強化するとともに、重要な業務執行の決定を取締役に委任する等、経営に関する意思決定の迅速化を目指すため、2017年6月27日付で監査等委員会設置会社に移行いたしました。

今後、コーポレートガバナンス機能をより強化することで、さらなる企業価値の向上につながるよう尽力してまいります。

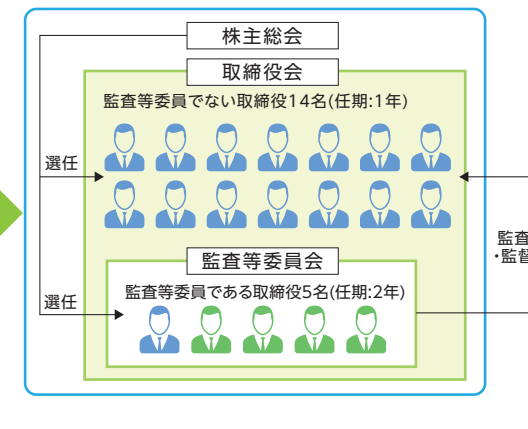
監査等委員会設置会社の特徴

従来の監査役会設置会社では、監査機能を担う監査役には取締役会での議決権は付与されていませんでした。今回移行する監査等委員会設置会社では、監査等の権限を行使する監査等委員も取締役として取締役会での決議に参加するため、業務執行者に対する監督機能をより強化することが可能となります。

監査役会設置会社



監査等委員会設置会社



社内 社外

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当期	前期
	2017年3月31日	2016年3月31日
資産の部		
流動資産	56,647	54,417
固定資産	60,326	62,305
資産合計	116,973	116,722
負債の部		
流動負債	29,670	22,342
固定負債	20,726	17,891
負債合計	50,397	40,234
純資産の部		
株主資本	46,456	54,075
その他の包括利益累計額	16,234	18,751
非支配株主持分	3,886	3,661
純資産合計	66,576	76,488
負債純資産合計	116,973	116,722

連結損益計算書

単位:百万円

科目	当期	前期
	2016年4月1日から 2017年3月31日まで	2015年4月1日から 2016年3月31日まで
売上高	92,844	89,932
売上総利益	20,478	18,391
営業利益	9,393	6,630
経常利益	9,611	6,611
税金等調整前当期純利益	△ 3,839	6,558
当期純利益	△ 5,993	4,314
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 6,914	3,654

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当期	前期
	2016年4月1日から 2017年3月31日まで	2015年4月1日から 2016年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,044	12,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,052	△ 6,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,841	404
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 580	△ 744
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,569	5,312
現金及び現金同等物の期首残高	22,009	16,696
現金及び現金同等物の期末残高	26,578	22,009

会社概要・株式情報

(2017年3月31日現在)

会社概要

社名 西川ゴム工業株式会社
 本社所在地 広島市西区三篠町二丁目2番8号
 (TEL. 082-237-9371 代表)
 設立 1949年(昭和24年)4月
 資本金 33億6,448万660円
 従業員数 1,356名

役員 (2017年6月27日現在)

代表取締役会長	西川 正洋	取締役	小川 秀樹
代表取締役社長	福岡 美朝	取締役	池本 充博
代表取締役副社長	山本 文治	取締役	岩本 忠夫
専務取締役	児玉 照三	取締役	休石 佳司
常務取締役	片岡 伸和	取締役(常勤監査等委員)	吉野 毅
常務取締役	佐々木 賢治	社外取締役(監査等委員)	白井 龍一郎
取締役	西川 泰央	社外取締役(監査等委員)	大迫 唯志
取締役	米山 昌一	社外取締役(監査等委員)	山本 順一
取締役	丸目 義博	社外取締役(監査等委員)	藏田 修
取締役	内藤 真		

株式の状況

発行可能株式総数……………48,343,000株
 発行済株式の総数……………19,995,387株
 株主数……………1,712名

●大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
西川正洋	1,436	7.34
株式会社ハイレックスコーポレーション	1,241	6.34
公益財団法人西川記念財団	1,000	5.11
西川ゴム工業取引先持株会	994	5.08
株式会社広島銀行	957	4.89

(注)持株比率は、自己株式(416,715株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 一単元の株式数 100株
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 (特別口座の管理機関) 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031(フリーダイヤル)

公告の方法 電子公告による(当社ホームページに掲載)

第68回定時株主総会に関するご報告

2017年6月27日に開催されました当社第68回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご報告申し上げます。

報告事項

1. 第68期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)事業報告および連結計算書類ならびに計算書類報告の件
2. 会計監査人および監査役会の第68期連結計算書類監査結果報告の件

上記の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案 **剰余金処分の件**
 原案のとおり承認可決され、期末配当金は1株につき18円と決定いたしました。
- 第2号議案 **定款一部変更の件**
 原案のとおり承認可決されました。
- 第3号議案 **監査等委員でない取締役14名選任の件**
 原案のとおり新任の池本充博氏、岩本忠夫氏、休石佳司氏を含めた取締役14名が選任され、それぞれ就任いたしました。
- 第4号議案 **監査等委員である取締役5名選任の件**
 原案のとおり監査等委員である取締役5名が選任され、それぞれ就任いたしました。
- 第5号議案 **監査等委員でない取締役の報酬額設定の件**
 原案のとおり承認可決されました。
- 第6号議案 **監査等委員である取締役の報酬額設定の件**
 原案のとおり承認可決されました。
- 第7号議案 **役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給の件**
 原案のとおり承認可決されました。
- 第8号議案 **当社株式等の大規模買付行為に関する対応策(買収防衛策)継続の件**
 原案のとおり承認可決されました。

西川ゴム工業ホームページ

<http://www.nishikawa-rbr.co.jp/>

